

## 【引用文献】

1. ブレット・ウォーカー (浜健二 訳) (2009) 絶滅した日本のオオカミ：その歴史と生態学. 北海道大学出版会, 北海道 316pp.
2. 遠藤公男 (1994) 盛岡藩御狩り日記. 講談社, 東京 261pp.
3. 今泉吉典 (1960) 原色日本哺乳類図鑑. 保育社, 大阪 196pp.
4. 安藤元一 (2008) ニホンカワウソ. 東京大学出版会, 東京 233pp.
5. 遠藤公男 (1987) カワウソ カラー百科シリーズ1 岩手の鳥獣百科. 岩手日報社出版部編集, 盛岡 223pp.
6. 環境省 (2014) レッドデータブック 2014—日本の絶滅のおそれのある野生生物—1 哺乳類. ぎょうせい, 東京 132pp.
7. Enari H, Enari S, Okuda K, Maruyama T, Okuda K.N (2019) An evaluation of the efficiency of passive acoustic monitoring in detecting deer and primates in comparison with camera traps. Ecological Indicators 98: 753–762.
8. 岩手県沿岸広域振興局 (2022) 令和3年度五葉山ニホンザル生息状況調査業務委託完了報告書. 合同会社東北野生動物保護管理センター 23pp.
9. 環境省 (2004) 第6回自然環境保全基礎調査 種の多様性調査 哺乳類分布調査報告書 213pp.
10. 大井徹 (1997a) 五葉山のニホンザル (前). モンキー 274: 3–10.
11. 大井徹 (1997b) 五葉山のニホンザル (後). モンキー 275: 3–8.
12. 大井徹・増井憲一 (2002) ニホンザルの自然誌—その生態的多様性と保全. 東海大学出版会, 秦野 367pp.
13. 宇野壮春・関健太郎・小野田泰士・田崎駿平・高岡裕大・筒井颯・今野文治・木野田拓也 (2022) 岩手県五葉山地域に生息するニホンザルの生息状況. 日本哺乳類学会2022年度大会要旨集 200pp.
14. 川本芳・宇野壮春・大井徹 (2022) 五葉山地域のニホンザル個体群に関する遺伝学的調査. 日本哺乳類学会2022年度大会要旨集 200pp.
15. 遠藤公男 (1980) 宮古市の哺乳類. 宮古市の自然, 宮古 117–120.
16. 藤井忠志 (1995) クマゲラにまつわる記憶. 盛岡タイムス社, 盛岡 143pp.
17. 前田喜四雄 (1973) 日本の哺乳類 (II) 翼手目ヤマコウモリ属. 哺乳類科学 13(2): 1–28.
18. 日本野生生物研究センター (1991) 生態系保全に着目した計画策定手法に関する研究調査報告書 103pp.
19. Yoshiyuki M (1989) A systematic study of the Japanese Chiroptera. Nat. Sci. Mus., Tokyo 242 pp.
20. 作山宗樹 (2007) 岩手県盛岡市におけるヤマコウモリ *Nyctalus aviator* の日中飛翔行動の記録. 東北のコウモリ 1: 25–27.
21. Corbet G.B, Hill J.E (1986) A World List of Mammalian Species. British Museum (Natural History), London. 254 pp.
22. 今泉吉典・遠藤公男 (1959) 岩手県で採集されたチチブコウモリについて. 哺乳動物学雑誌 (1): 127–132.
23. 遠藤公男 (1973) 原生林のコウモリ. 学習研究社, 東京 183pp.
24. Imaizumi Y (1959) A new bat of the *Pipistrellus javanicus* group from Japan. Bull. Nat. Sci. Mus. 4: 363–371.
25. 小野泰正・関山房兵 (1986) 早池峰自然環境保全地域の哺乳類. 早池峰自然環境保全地域調査報告書. 環境庁自然保護局 199–209.
26. 横山恵一 (1997) モリアブラコウモリ (*Pipistrellus endoi*) 図書室で休眠. コウモリ通信 5(1): 1–2.
27. 内田照章・安藤光一 (1972) 翼手類における核型分析 I. *Barbastella leucomelas darjilingensis* チチブコウモリの核型とその系統的位置づけ. 九大農芸誌 26(1): 393–398.
28. 遠藤公男 (1976) クロホオヒゲコウモリの妊娠例と飛翔. 哺乳動物学雑誌 6(5–6): 259–260.
29. Yoshiyuki M (1971) A new bat of the Leuconoe group in the genus Myotis from Honshu, Japan. Bull. Nat. Sci. Mus. Tokyo 14: 305–310.
30. 北上市 (2015) 新編北上市史特別編 自然 第4部3章. 企画部総務課 市史編さん室 231.
31. 関山房兵 (1982) 早池峰山のネズミ類および食虫類 (特にその生態分布の変化について). 岩手生物教育研究会会誌 14: 15–22.
32. 横山恵一 (1985) ニホンウサギコウモリ・繁殖集団発見の記. いわて文化財 86: 2–3.
33. 横山恵一 (1992) 長い耳の秘密 —ニホンウサギコウモリ 週間朝日百科— 動物たちの地球. 朝日新聞社 8: 118–119.
34. 遠藤公男 (1971) トウヨウヒナコウモリの森林棲息例. 哺乳動物学雑誌 5(4): 149–150.
35. Funakoshi K, Uchida T. A (1981) Feeding activity during the breeding season and postnatal growth in the Namie's frosted bat *Vespertilio superans superans*. 日本生態学会誌 31(1): 67–77.
36. 向山満 (2000) ヒナコウモリ 青森県の希少な野生生物—青森県レッドデータブック. 青森県, 青森 109pp.
37. 作山宗樹 (2007) 岩手県内陸部におけるヒナコウモリ *Vespertilio superans* 出産・哺育コロニーの分布. 東北のコウモリ 1: 14–19.
38. 北上市 (2015) 新編北上市史特別編 自然 第4部3章. 企画部総務課 市史編さん室 229.

39. 向山満 (2000) ホンドノレンコウモリ 青森県の希少な野生生物－青森県レッドデータブック. 青森県, 青森 103 pp.
40. 内田照章・庫本正 (1968) 洞窟棲コウモリ類における群れ とくに異種・異属混棲群塊について. 哺乳類科学 8(2):3-15.
41. 今泉吉典 (1970) 日本哺乳類図説 上. 新思潮社 350pp.
42. 船越公威・内田照章 (1975) 温帯に生息する食虫性コウモリの生理・生態的適応に関する研究 I. ユビナガコウモリの採食活動について. 日本生態学会誌 25(4): 217-234.
43. 庫本正 (1972) 秋吉台産コウモリ類の生態および系統動物学的研究. 秋吉台科学博物館報告 8: 7-119.
44. 内田照章 (1985) こうもりの不思議. 球磨村森林組合, 球磨 146pp
45. 横山恵一・内田照章・白石哲 (1975) 翼手類の飛翔適応に関する翼の機能形態学的研究 I. 前肢の相対成長, 翼構成骨の骨成長, 翼荷重および翼の縦横比. 動物学雑誌 84(3): 233-247.
46. 庫本正・内田照章 (1981) テングコウモリ新生獣の成長. 秋吉台科学博物館報告 16: 55-69.
47. Yokoyama K (1996) Notes concerning the Fuji whiskered bat (*Myotis fuijensis*). Ann. Speleol. Res. Inst. Japan, 14: 17-18.
48. 増田寅樹 (1996) オコジョとイイズナ 日本動物大百科1 哺乳類I. 平凡社, 東京 132-135pp.
49. 野柴木洋 (1995) オコジョの不思議. どうぶつ社, 東京 135pp.
50. 小原良孝 (1991) 日本産食肉類イタチ科の起源と系統進化. 哺乳類科学 30(2): 197-220.
51. 山口祐司・柳川久 (1995) 野外におけるエゾモモンガ *Pteromys volans orii* の日周期活動性. 哺乳類科学 34(2): 139-149.
52. 湊秋作 (2000) ヤマネって知ってる?. 築地書館, 東京 126pp.
53. 中島福男 (1996) ヤマネ 日本動物大百科1 哺乳類I. 平凡社, 東京 88-91.
54. 吉行端子 (1968) 五葉山ならびに早池峰山の翼手類. 国立科学博物館専報 1: 92-95.
55. 北上市 (2015) 新編北上市史特別編 自然 第4部3章. 企画部総務課 市史編さん室 230.
56. 阿部永監修 (2008) 日本の哺乳類. 東海大学出版会, 泰野 206pp.
57. 北垣憲仁 (1996a) カワネズミ 日本の希少な野生水生生物に関する基礎資料 (III) - V. 水生哺乳類-. 日本水産資源保護協会 289-293.
58. 北垣憲仁 (1996b) カワネズミの谷. フレーベル館, 東京 55pp.
59. 北上市 (2015) 新編北上市史特別編 自然 第4部3章. 企画部総務課 市史編さん室 232.
60. 岩手県自然保護課 (2017) 第4次ツキノワグマ管理計画 30pp.
61. 岩手県自然保護課 (2022) 第5次ツキノワグマ管理計画 28pp.
62. 羽澄敏裕 (1996) ツキノワグマ 日本動物大百科1 哺乳類I. 平凡社, 東京 144-147.
63. 山内貴義・齊藤正恵 (2008) 岩手県におけるヘア・トラップの実施状況と今後の課題. 哺乳類科学 48(1): 125-131.
64. 岸本良輔 (1996) ニホンカモシカ 日本動物百科2 哺乳類II. 平凡社, 東京 106-111.